

# 島根県の経済動向

平成25年4月分

統 第 7 5 号  
平成25年6月28日

政策企画局統計調査課

## －島根県の経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体として横ばい圏内にある－

生産活動は全体として持ち直しの動きが続いている。雇用情勢は厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きがみられる。個人消費は横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は97.7となり、前年同月比は5.8%と3か月ぶりに前年を上回った。大口電力需要実績は3.3%と5か月連続で前年を上回った。 生産活動は、全体として持ち直しの動きが続いている。
雇用情勢	⇒	～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～	有効求人倍率は0.99倍と2か月ぶりに上昇、新規求人数は4.1%と2か月ぶりに前年を上回った。所得面では、現金給与総額は2か月ぶりに、きまって支給する給与は4か月連続で前年を上回った。 雇用情勢は、厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動きがみられる。
個人消費	⇒	～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～	大型小売店販売額は▲2.9%、ホームセンター販売額は▲10.3%とそれぞれ2か月ぶりに前年を下回った。家電量販店販売額は▲14.5%と4か月連続で前年を下回った。新車登録台数は▲3.6%と8か月連続で前年を下回ったが減少幅は縮小した。 個人消費は、横ばい圏内ながら一部に弱い動きがみられる。
投資動向	⇒	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は▲35.4%と2か月ぶりに前年を下回り、公共工事請負金額は29.3%と2か月連続で、新設住宅着工戸数は5.6%と4か月ぶりに前年を上回った。 投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	⇒	～倒産件数2件～	企業倒産件数は2件。うち建設業、製造業とも0件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年3.3%増～	銀行預金残高は58か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は32か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.5%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.7となり、対前年同月比0.5%と2か月ぶりに上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成25年6月28日公表）		C1先行指数は88.1となり、6か月連続で上昇となった。 C1一致指数は99.3となり、4か月ぶりに上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成25年6月11日公表）		財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状（25年4～6月期）は8.9%ポイントと「上昇」超に転じている。  〔先行きについては、翌期（7～9月期）、翌々期（10～12月期）も「上昇」超で推移する見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	98.0	99.4	101.4	97.8	93.4	97.7
	” （原指数）	6.9	4.0	7.5	▲0.1	▲1.5	5.8
	大口電力需要実績	▲0.7	0.5	1.1	0.7	1.0	3.3
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.94	0.95	0.96	0.99	0.97	0.99
	新規求人数	10.2	▲7.9	▲0.9	12.4	▲11.4	4.1
	常用労働者数	▲2.9	▲3.3	▲2.0	▲1.4	▲1.4	▲1.2
	現金給与総額	▲2.9	▲8.7	0.1	1.2	0.0	2.0
	きまって支給する給与	▲1.8	▲1.2	0.5	1.1	0.1	1.9
	所定外労働時間（製造業）	▲28.5	▲19.6	▲18.3	▲15.1	▲10.6	▲2.9
個人消費	大型小売店販売額	0.5	5.5	▲8.2	▲7.2	2.6	▲2.9
	ホームセンター販売額	▲1.5	▲5.7	▲3.5	▲2.2	3.0	▲10.3
	家電量販店販売額	▲1.4	11.8	▲4.6	▲7.1	▲11.5	▲14.5
	乗用車新車登録台数	▲0.7	▲5.0	▲10.9	▲7.6	▲10.6	▲3.6
	出雲空港利用者数	8.0	8.4	1.1	3.0	7.0	7.0
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	20.8	▲12.6	187.5	▲19.8	48.8	▲35.4
	公共工事請負金額	10.0	56.4	▲6.5	▲36.2	0.3	29.3
	新設住宅着工戸数	▲38.8	35.4	▲5.1	▲29.3	▲24.5	5.6
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	8	4	8	2	2	2
	* 負債総額（百万円）	810	353	881	190	257	62
金融情勢	銀行預金残高	4.0	2.4	2.0	2.5	2.3	1.9
	銀行貸出金残高	3.0	2.5	2.8	2.9	3.5	3.3
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.3	100.1	99.9	100.2	100.3	100.7
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	72.8	73.6	76.2	77.3	78.2	88.1
	* 景気動向指数（CI一致指数）	91.6	98.2	96.9	96.4	93.6	99.3

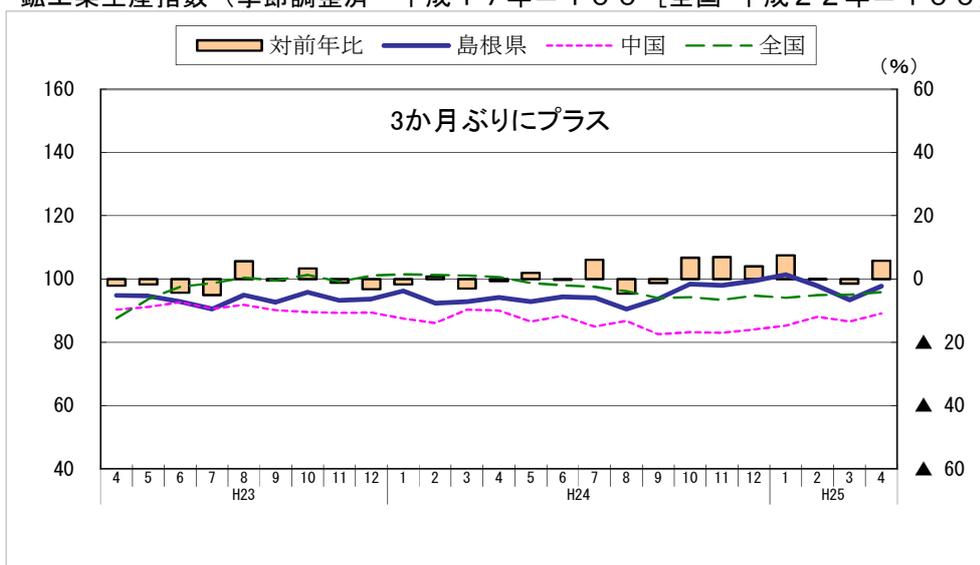
## 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」平成25年6月13日</p> <p>景気は、着実に持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、持ち直している。</li> <li>・ 企業収益は、製造業を中心に改善している。設備投資は、下げ止まりつつある。</li> <li>・ 企業の業況判断は、改善の動きがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。</li> <li>・ 個人消費は、持ち直している。</li> <li>・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。</p>											
	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成25年6月20日</p> <p>～ 緩やかな持ち直しの動き ～</p> <p>中国地域の経済は、生産・輸出が自動車を中心に好調に推移し、公共工事、住宅建設ともに増加するなど、緩やかな持ち直しの動きとなっている。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…緩やかな持ち直しの動き</td> <td>2. 景況感…現状、先行きともに低下</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…減少</td> <td>4. 物 価…企業物価は上昇、消費者物価は下落</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…横ばい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…前年度を下回る見込み</td> <td>7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加</td> </tr> <tr> <td>8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加</td> <td>10. 貿 易…輸出、輸入ともに増加</td> </tr> </table>	1. 生産動向…緩やかな持ち直しの動き	2. 景況感…現状、先行きともに低下	3. 産業用電力需要…減少	4. 物 価…企業物価は上昇、消費者物価は下落	5. 個人消費…横ばい		6. 設備投資…前年度を下回る見込み	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇		9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加
1. 生産動向…緩やかな持ち直しの動き	2. 景況感…現状、先行きともに低下											
3. 産業用電力需要…減少	4. 物 価…企業物価は上昇、消費者物価は下落											
5. 個人消費…横ばい												
6. 設備投資…前年度を下回る見込み	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加											
8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇												
9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加	10. 貿 易…輸出、輸入ともに増加											
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2013年6月3日</p> <p>山陰両県の景気は、一部に弱さが残るが、全体としては緩やかに持ち直しつつある。すなわち、個人消費や住宅投資は横ばい圏内の動きとなる中で、一部に持ち直しの動きもみられる。設備投資や公共投資は持ち直している。こうした中、生産は一部に弱さが残るが、全体としては緩やかに持ち直しつつある。また、雇用・所得環境は厳しい状態が続いているが、労働需給面では改善の方向に向かっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、横ばい圏内の動きとなる中で、一部に持ち直しの動きもみられる。</li> <li>・ 住宅投資は、横ばい圏内の動きとなる中で、一部に持ち直しの動きもみられる。</li> <li>・ 設備投資は、持ち直している。</li> <li>・ 公共投資は、持ち直しの動きが明確になっている。</li> <li>・ 生産は、一部に弱さが残るが、全体としては緩やかに持ち直しつつある。</li> <li>・ 雇用・所得環境は、厳しい状況が続いているが、労働需給面では改善の方向に向かっている。</li> </ul>											
	<p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2013年5月29日</p> <p>公共投資は持ち直しているものの、生産は横ばい圏内で推移し、個人消費は低調に推移するなど、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、水準は低いながらも持ち直している。</li> <li>・ 設備投資は、2013年度は全産業で前年度を下回る計画（企業動向調査3月）。</li> <li>・ 住宅建設は、一進一退の動きとなっている。</li> <li>・ 個人消費は、総じて低調な推移となっている。</li> <li>・ 生産は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。</li> <li>・ 雇用情勢は、島根県は持ち直しの動きとなっている。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元（2012年度下期）、製造業でやや悪化、非製造業で改善し、全産業で改善となった（▲21.1→▲2.8）。先行き（2013年度上期）については、製造業が改善、非製造業が悪化を予想しており、全産業でやや悪化（▲2.8→▲6.2）の見通しとなっている（企業動向調査3月）。</li> </ul>											
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成25年4月24日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、一部に弱さがみられるものの、下げ止まっている。なお、足下では、企業の景況感が改善しているほか、先行きに対する期待や明るい声が聞かれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 弱い動きとなっている</li> <li>・ 生産活動 持ち直しの兆しがみられる</li> <li>・ 雇用情勢 厳しい状況にあるなか、緩やかな改善の動きがみられる</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回っている</li> <li>・ 設備投資 24年度は減少見込み</li> <li>・ 企業収益 24年度は増益見込み</li> </ul>											

# 経済指標の推移

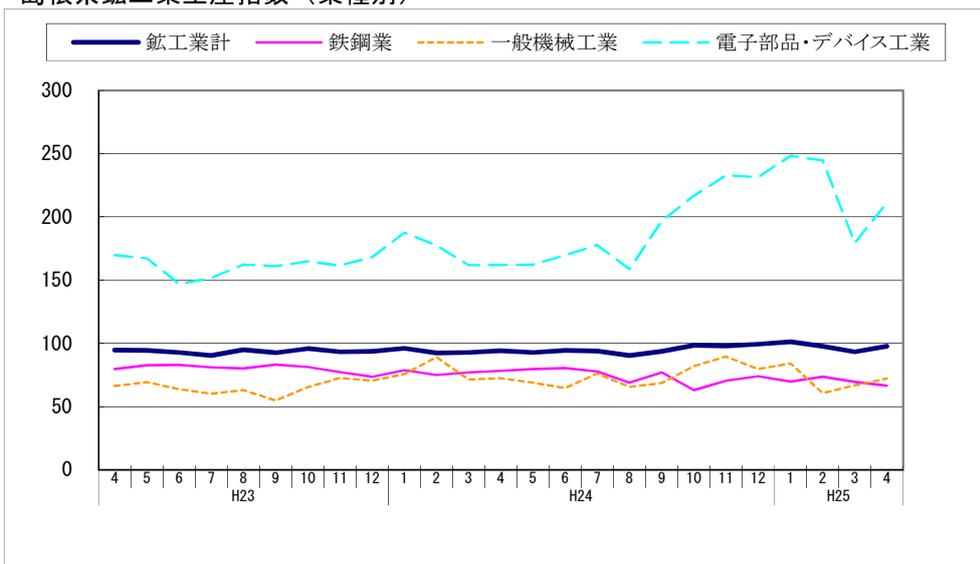
## 【生産活動】 ～持ち直しの動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100 [全国 平成22年=100]）



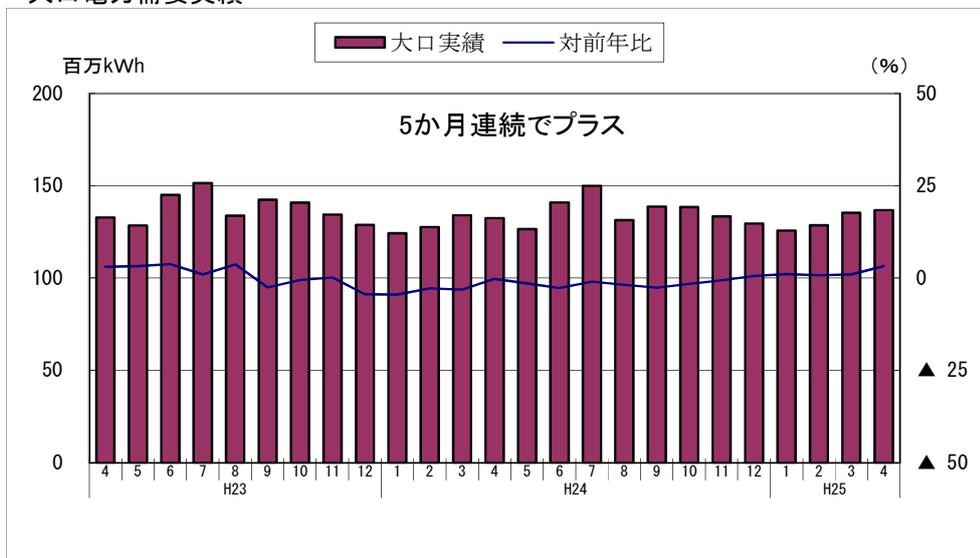
(注) 対前年比は、島根県の原指数 (県統計調査課、経済産業省)

## 島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

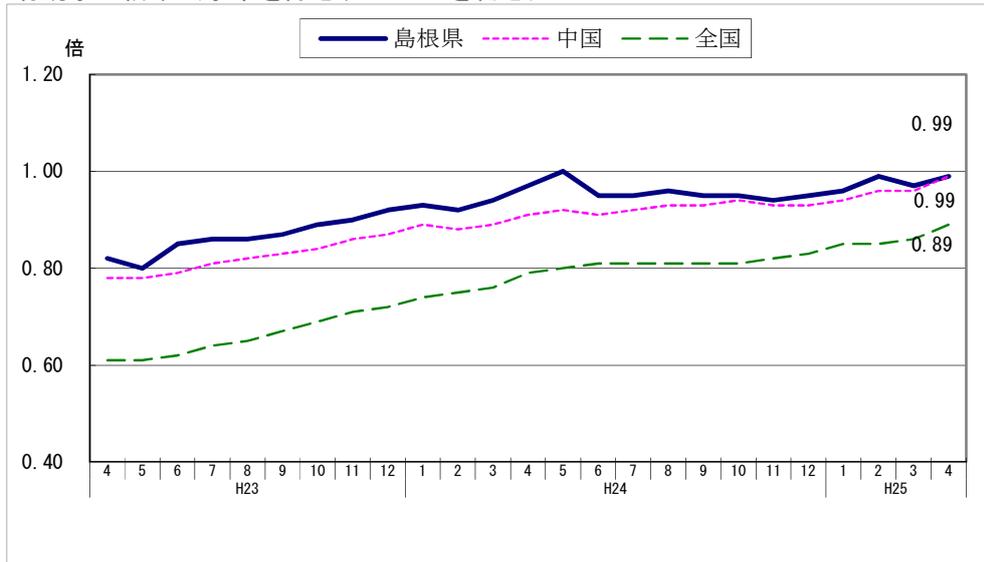
## 大口電力需要実績



(中国電力株)

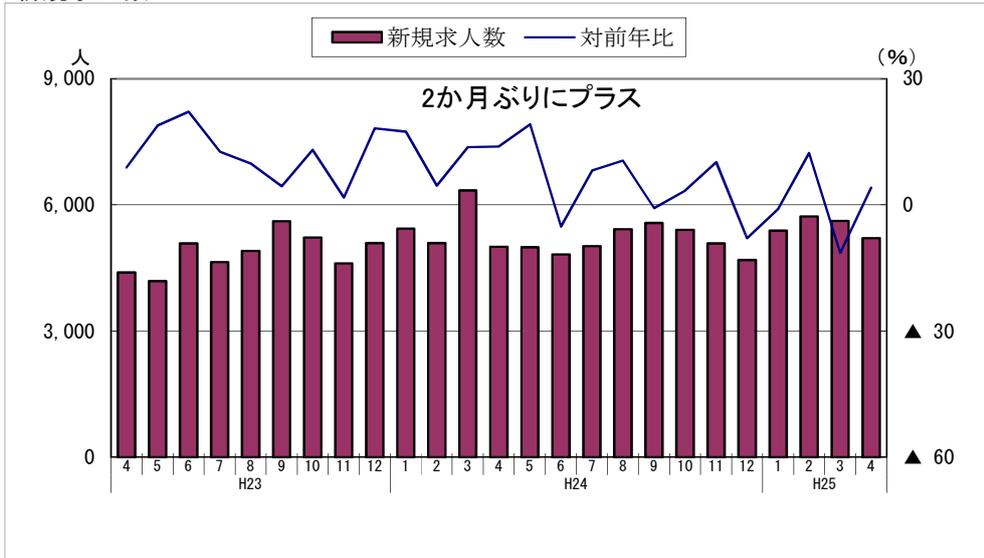
【雇用情勢】 ～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



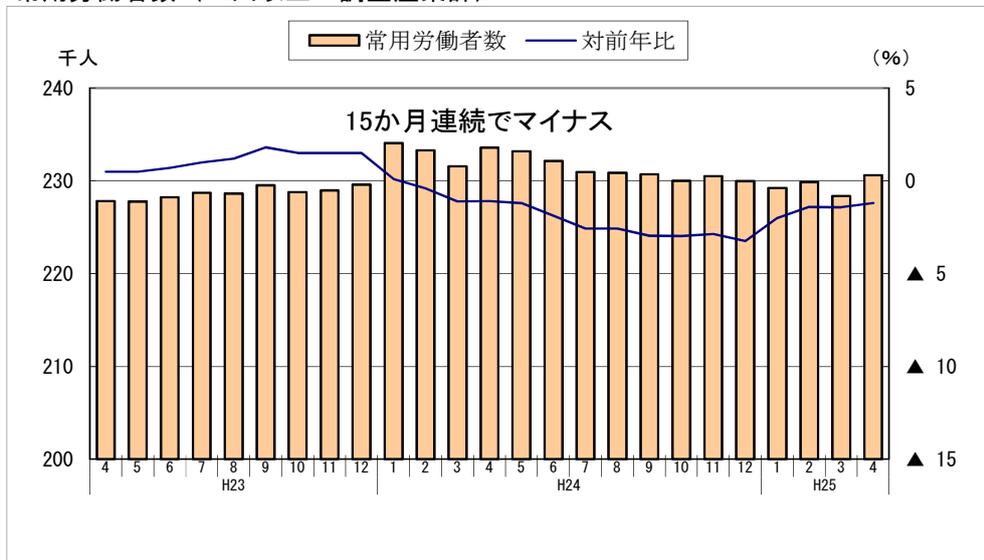
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

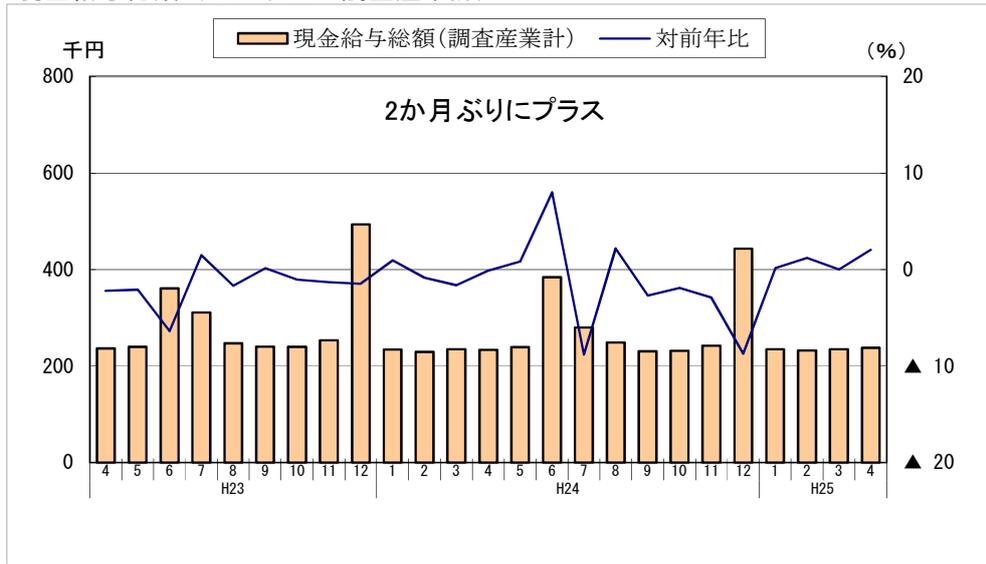
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

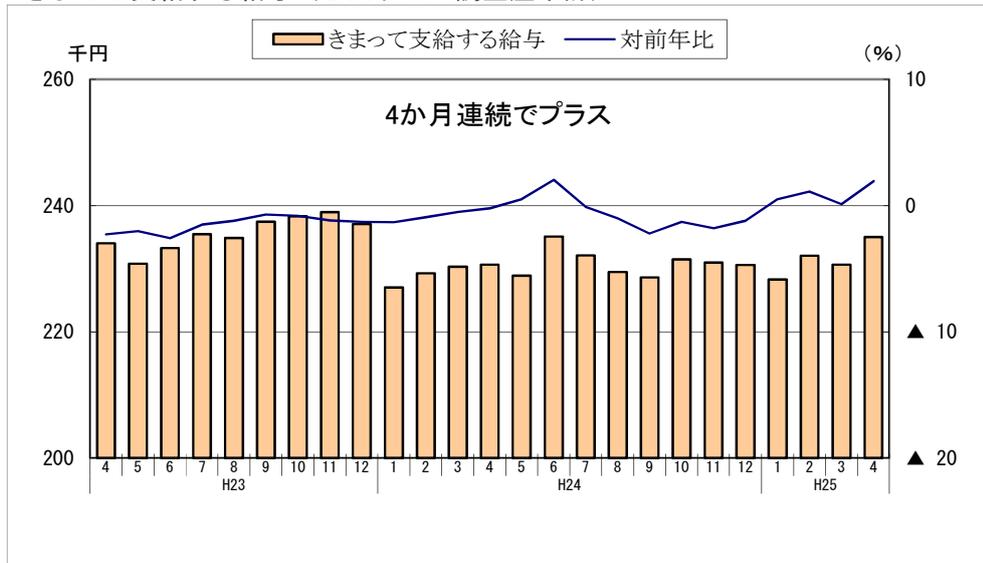
【雇用情勢】 ～厳しい状況ながら緩やかな持ち直しの動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



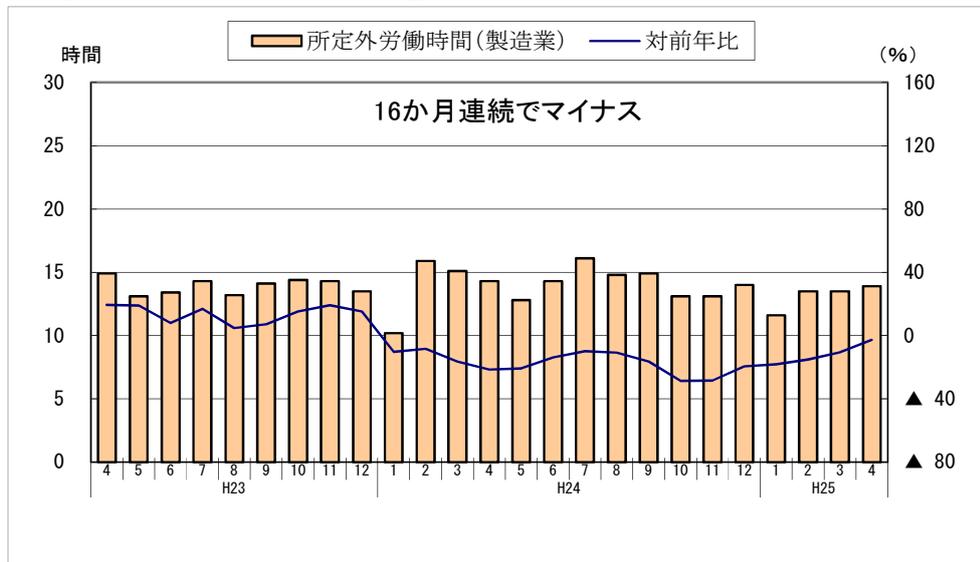
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

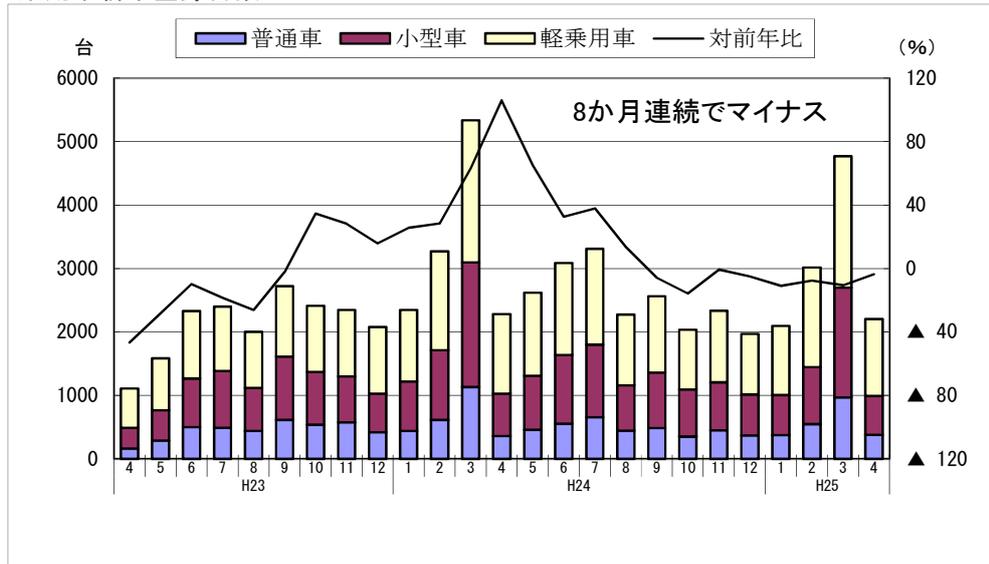


(県統計調査課)



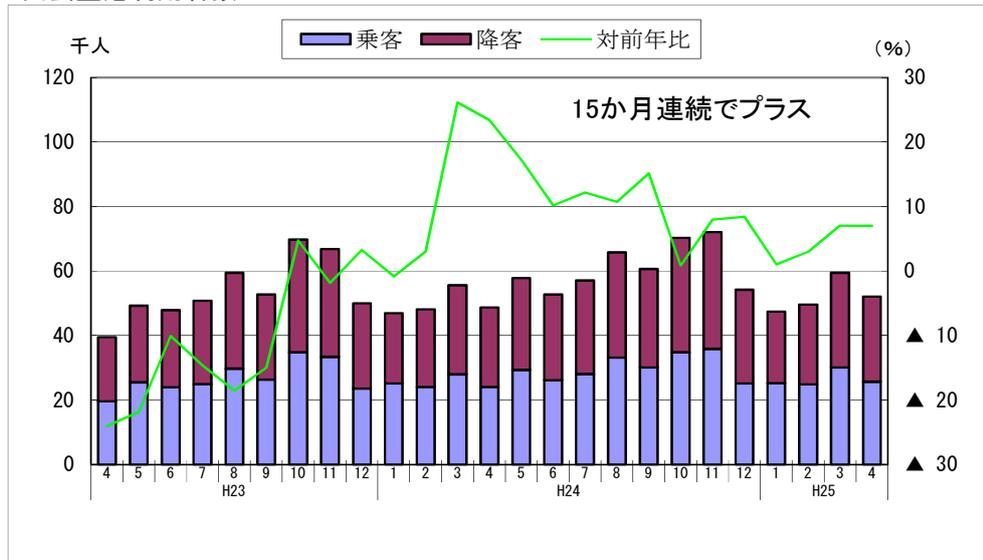
【 個人消費 】 ～横ばい圏内ながら一部に弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

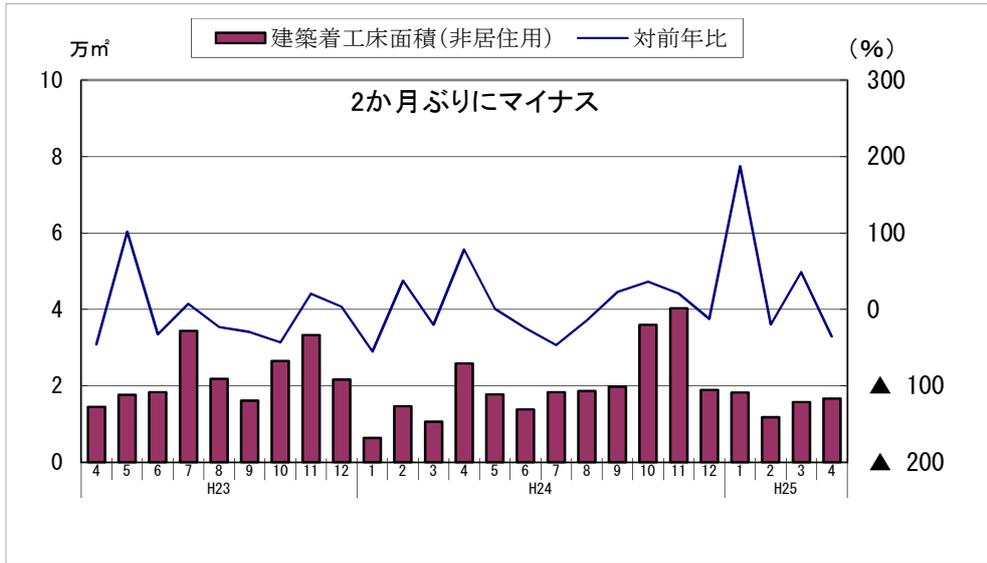
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

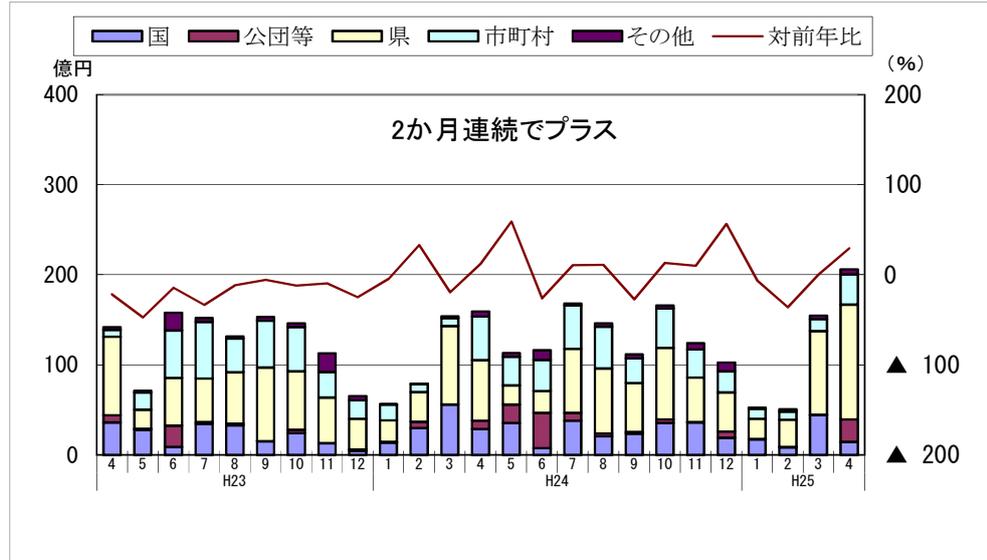
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



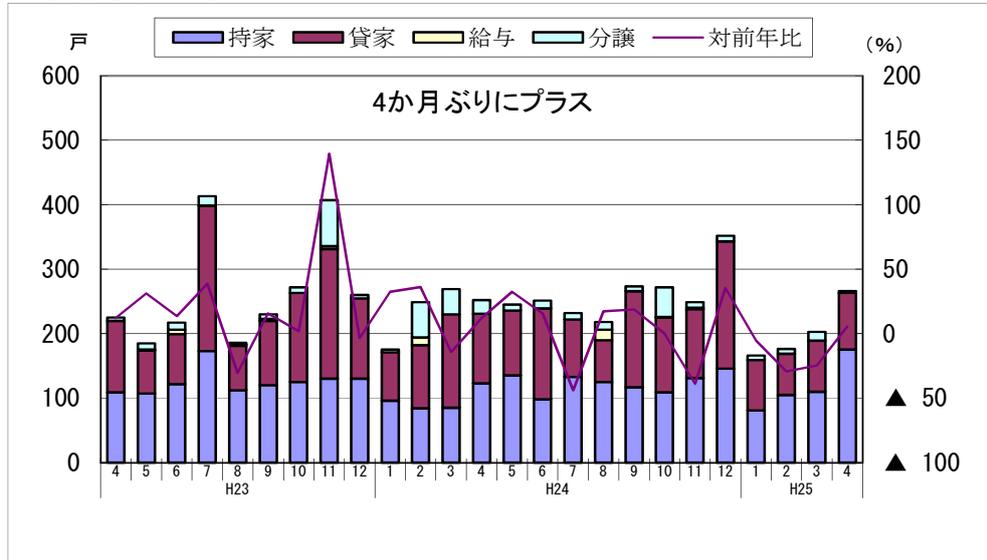
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

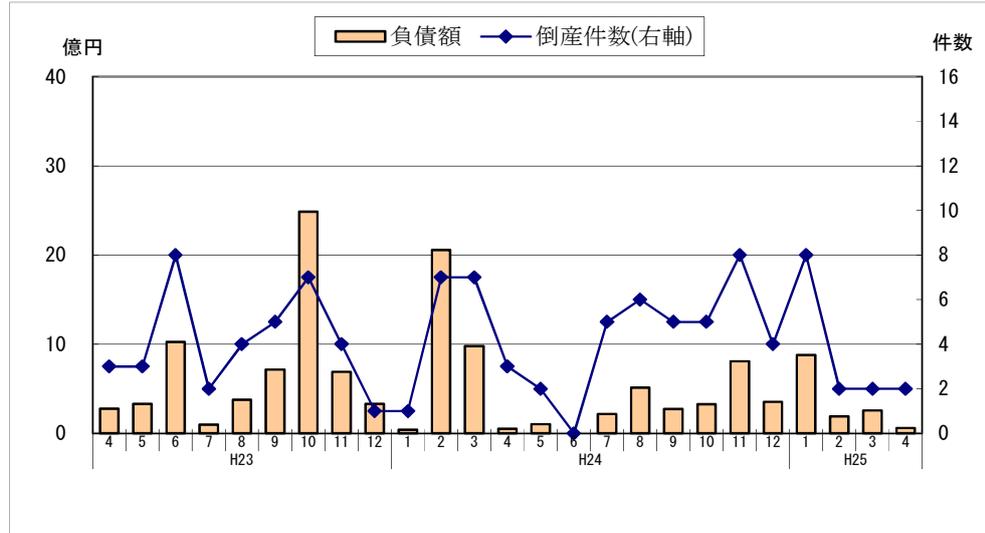
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 2 件～

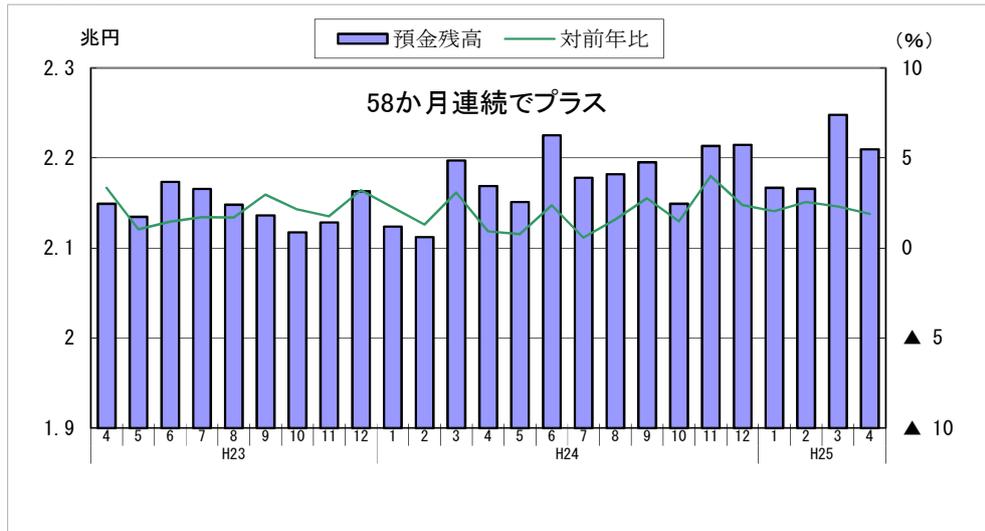
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

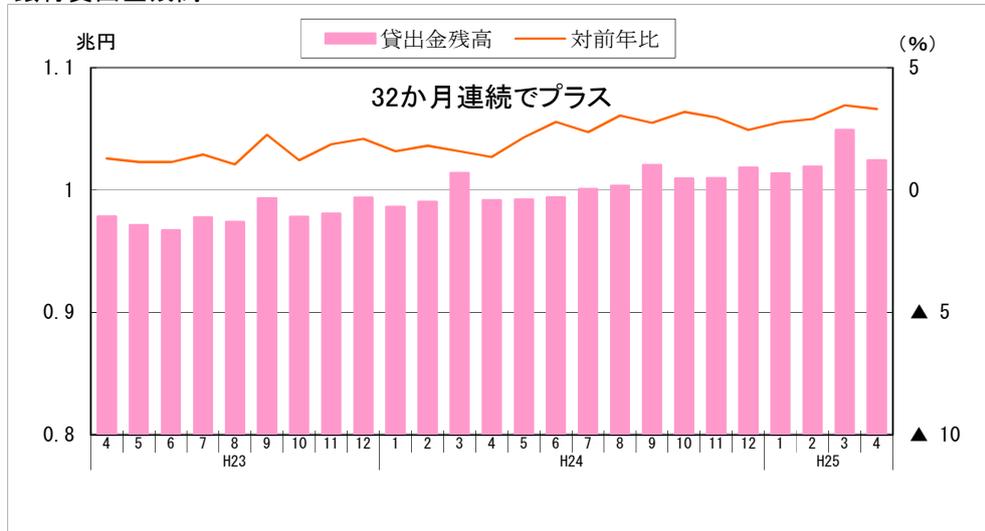
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年3.3%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

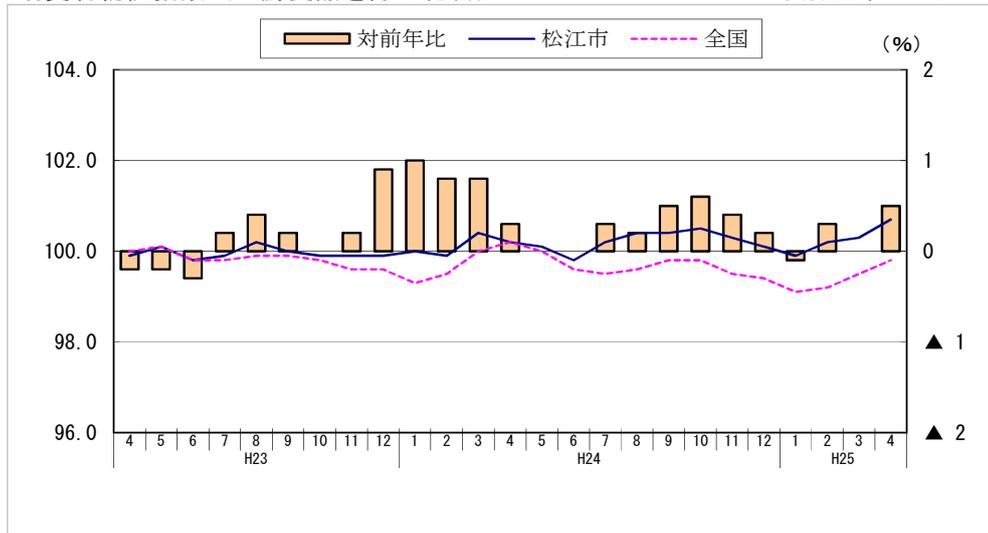


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.5%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

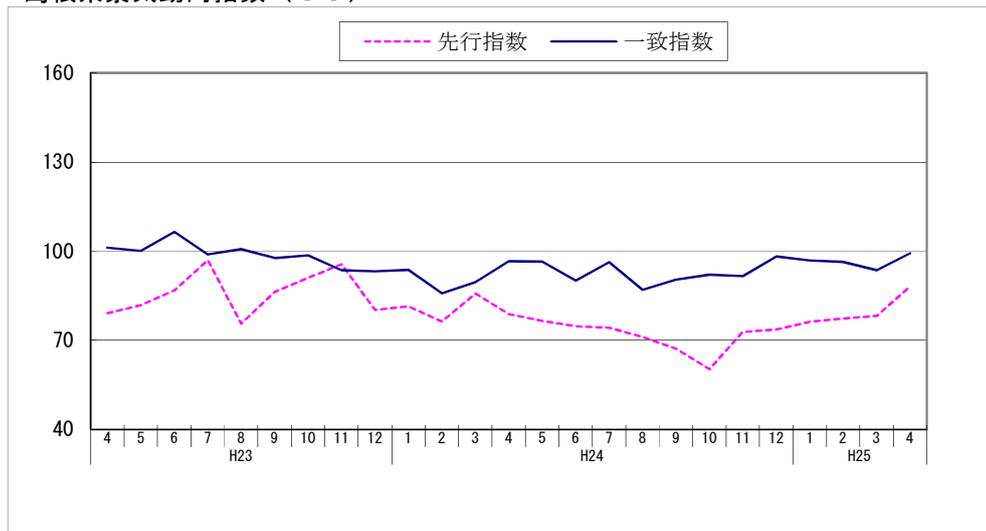
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成25年6月11日 財務省松江財務事務所)  
平成25年4～6月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	25年1～3月 前回調査	25年4～6月 今回調査	25年7～9月 見 通 し	25年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲ 5.9	( ▲1.0) 8.9	( 5.9) 4.0	13.9
製 造 業	▲ 11.8	( ▲8.8) 5.4	( 0.0) 10.8	32.4
非製造業	▲ 2.9	( 2.9) 10.9	( 8.8) 0.0	3.1
大 企 業	▲ 12.5	( ▲12.5) ▲ 12.5	( 0.0) 0.0	12.5
中堅企業	▲ 11.4	( ▲17.1) 30.3	( 5.7) 30.3	12.1
中小企業	▲ 1.7	( ▲10.2) 0.0	( 6.8) ▲ 10.0	15.0

※ ( ) 書きは、前回 (25年1～3月期) 調査時の見通し。